

10002 キリスト教概論Ⅱ i Introduction to Christianity II		3年次～ 前期 2単位	
担当者	石川 都	履修可能学科	E必 Pe必 Pc必 C必 W F N
		関連資格	保育 (P c)
サブタイトル	死と向き合う		
授業内容 ・ ねらい	<p>現代社会では、死は私たちの日常から遠ざかりつつあります。また一方で医療技術の進歩により、出生前診断から終末医療に至るまで、私たちは人生の多くの場面で重い決断を迫られるようになってきました。</p> <p>そうした中で今、人間の生と死をめぐる諸問題を、医療、哲学、倫理、宗教などさまざまな角度から、より総合的・学際的にとらえる死生学が求められています。</p> <p>欧米の死学のように死に焦点を当てるだけでなく、生死一如とみる東洋的視野も含め、古今東西の死生観もたどりながら、生命について、生死の意味づけについて、多角的に見てゆきます。</p> <p>講義や討論を通し、各自が死から照らし出された自らの生について、深く考えることをめざします。</p>		
授業計画	<p>1) 死生学とは 2) 死生学の領域と方法論 3) 生と死の文化史 4) 死の儀礼の多様性 5) キリスト教の死生観 6) 日本人の死生観 7) 現代社会の死 8) 現代文化における死 9) 脳死と臓器移植 10) 生命倫理 11) 終末医療 12) ホスピスとビハーラ 13) 生と死の教育 14) ターミナルケアと宗教 15) ディスカッション</p>		
教科書 参考書	講義時に指示		
評価方法	<p>毎回出欠と質問票を兼ねたミニレポートを提出。 成績は試験（小論文）と出席状況と授業態度との総合評価。</p>		
事前準備学習 履修条件等			